

色覚に不安を感じる生徒の皆さんへ 富士北稜高校保健室

「色覚異常」と言う言葉をご存じですか。先天性色覚異常は、男子の約5%（20人に1人）、女子の約0.2%（500人に1人）の割合に見られます。色が全くわからないというわけではなく、色によって見分けにくいことがあり、主には赤と緑の区別が、環境条件（明暗、小さい、ちらっと見る、薄いなど）により左右されます。本人には自覚が無い場合が多く、保護者も検査を受けるまで気づかない場合が少なくありません。色覚により入学を制限する上級学校があることや、公務員試験の一部の職種は色覚検査を実施することがあることなどを知っておく必要があります。いずれの場合も、進路を考える際、正確な情報を得ることが大切です。

色覚異常について心配な場合は、保健室で簡易検査を実施し、必要な場合は眼科にて精密検査を受ける事をお勧めしますのでご相談ください。

☆日本眼科医会が平成22年から2年間にわたり色覚異常で眼科を受診した方の実態調査をしました。一部のエピソードです（全国941例）。

- 5才男 ゲーム機の充電の色（橙と黄緑）が区別できなかった
- 8才男 理科のプリントで草や花の色をうまく塗れない
- 10才男 色づかいが級友と違うことをからかわれた
- 14才女 美術部に所属しているが、赤と紫の色の間違いを指摘された
- 15才男 工業高校入学後の健診で指摘され職業選択に不安を抱いた
- 16才男 美容専門学校希望だがヘアカラーがぜんぜんわからない
- 18才男 鉄道会社の就職試験前日、学校で色覚検査を受けてはじめて異常を知る
- 18才女 警察官志望だったが、色覚異常とわかり断念した
- 18才男 福祉施設で介護士として働いているが、入所者の顔色が判断できない
- 26才男 ペンキの配色がうまくできない。広告関係の仕事で色によるミスが続いている
- 36才男 刺身の鮮度がわからず古いものを出したり、肉の焼け具合もわからない
- 55才男 クリーニング業だが染み抜き作業でミスの色がわからない



【よく検討した方が良くと言われている職業】

○直接人の命に関わる職業

職業運転手：パイロット、列車の運転手（鉄道会社）、船舶

*単一の信号灯の色判断で全てが左右されるため、受験資格が認められていない

消防士：炎の色で、その現場の状況判断をするため



○国家試験による職業資格

警察・消防・防衛省・自衛隊・航空・船舶に関するもの

毒物劇物取扱責任者・ふぐ調理師

オートレース選手及び審判員・モーターボート選手及び審判員・競馬騎手・調教師

○食品関係の職業

野菜の鮮度を色で見分けられない

例) 熟したトマトと緑のトマトが区別できない バナナの熟し度合い

○染色・塗装・繊維・色材料の仕事

印刷会社・新聞社・建築家・画家・イラストレーター・電気関係の配線作業

<参考資料>

先天性色覚異常は、男子の約5%（20人に1人）、女子の約0.2%（500人に1人）の割合に見られます。色が全くわからないというわけではなく、色によって見分けにくいことがあり、主には赤と緑の区別が、環境条件（明暗、小さい、ちらっと見る、薄いなど）により左右されます。状況によっては色を見誤って周囲から誤解を受けることや、色を使った授業の一部が理解しにくいことがあるため、学校では配慮が望まれます。本人には自覚が無い場合が多く、保護者も検査を受けるまで気づかない場合が少なくありません。

【よく検討した方が良いと言われている職業】

○直接人の命に関わる職業

職業運転手：パイロット、列車の運転手（鉄道会社）、船舶

＊単一の信号灯の色判断で全てが左右されるため、受験資格が認められていない

消防士：炎の色で、その現場の状況判断をするため

医師・薬剤師：医療や薬剤師のある種の分野では色の判断誤りが人命に関わる

○国家試験による職業資格

警察・消防・防衛省・自衛隊・航空・船舶に関するもの

毒物劇物取扱責任者・ふぐ調理師

オートレース選手及び審判員・モーターボート選手及び審判員・競馬騎手・調教師

○食品関係の職業

野菜の鮮度を色で見分けられない

例）熟したトマトと緑のトマトが区別できない バナナの熟し度合い

○染色・塗装・繊維・色材料の仕事

アパレル：企業によってはお断りをうたっている

印刷会社・新聞社・建築家・画家・イラストレーター・電気関係の配線作業

＊就職している人もいますが・・・

【日常生活でこんな経験をしたことはありませんか】

赤と緑⇒緑の中にちらほら見える赤い紅葉や椿のつぼみが認識できない

ポインセチアの赤葉と緑葉の区別が出来ない

熟れたトマトとまだ緑のトマトの区別が出来ない

オレンジと黄緑⇒コインロッカーなどに使われている小さな発光ダイオードが認識出来ない

緑と茶⇒木の幹と葉を区別して描けなかった

青と紫⇒色見本の差が分からず、誤った印刷物を作成してしまった

ピンクと白、灰色⇒桜の花は白にしか見えない。淡いピンクの真珠を白と区別できない

緑と灰色、黒⇒黒板の緑チョークが読めない。小学生の時に道路を塗るのに緑を使った

赤と黒⇒ボールペンの赤と黒、カレンダーの祝日と平日、時刻表の特急と鈍行の区別が難し

動脈血と静脈血の区別が困難である

ピンクと青⇒ピンクのオシロイバナを青だと思っていた